

集団的学校生活における人間関係に関する考察

背景・目的

私たちは幸福というテーマを基盤に研究を進め、日常の中でどのような場面で幸福を感じるのか興味を持った。また、学校生活において友人と過ごす時間が多く、友人関係が幸福にかかわってくるのではないかと考え、調査を行った。

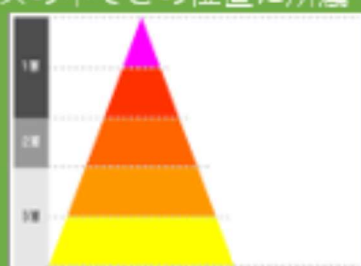
仮説

対人関係の充実が幸福に影響しているのではないかとという前提から、図の上にいると感じている人ほど対人関係が充実しているのではないかと考えた。さらに、家族以外で悩み事などの相談ができたり、信頼できる人の存在が心の安らぎを与え、対人関係の充実に深くかかわっているということも考えた。

調査方法・結果

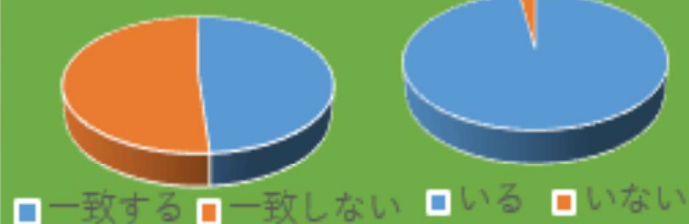
対人関係と幸福の関係性を調べるため、以下の質問をアンケートで尋ねた。

1. 右の図においてクラスの中でどの位置に所属していると思うか
2. あなたはどの立ち位置に所属したいか
3. 現在の学校生活の充実度はどうか
4. 家族以外で信頼できる人はいるか



現実と理想が一致するか

相談できる人



一致した人の充実度

信頼する人がいて安心か



考察

アンケートにおいてクラスの中の立ち位置として現実・理想とともに真ん中と答えた人が多く、その位置にいることが対人関係の充実である。またほとんどの人が信頼できる人と言うと答え、その人の存在も幸福に影響しているのではないかと考えた。

結論・まとめ

「幸福」を追い求めていく中で、家族以外で相談や信頼できる関係が人間関係の潤滑油となることが分かった。また、ある特定の人のみでリーダーシップをとったり、それぞれの個人のみで行動するよりも、全員で等しい絶対的な位置を築いていくことが対人関係の充実、さらには幸福へとつながっていくのではないかとこの考えに至った。

参考文献

- ・現代の子どもの友人関係の特質 遠藤忠 長田勇 櫻井誠 高林直人 2017年
https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyowau/18/0/18_36/pdf
- ・学校における人間関係についての考察 住田秀二 2004年